

全国保健所長会 だより

はじめに

第79回全国保健所長会総会は、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、会議時間短縮のため、総会部分を書面開催とし、研究事業報告・会員協議部分は、令和4年10月6日(木)に山梨県会場(アピオ甲府)とオンラインのハイブリッド方式で開催されました(写真)。令和元年以來、3年ぶりの実地開催となります。

会長あいさつ



岩佐敏山梨県峡南保健所長による開催地会長あいさつの様子

収入支出決算報告(案)及び監査報告。2令和4年度補正予算(案)。3令和5年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)は承認されました。

研究事業報告

永井仁美所長(大阪府茨木保健所)、長瀬有紀所長(長野県長野保健所)の座長の下、次の報告が行われ、活発な討論が繰り広げられました。
【報告1】医療構想と包括ケアの推進における保健所の役割についての研究
【報告2】措置診察および措置入院者支援の課題整理と今後の保健所の対応の検討に関する研究
川原明子所長(福岡県嘉穂・鞍手保健所)

会員協議

白井千香所長(枚方市保健所)、古屋好美所長(甲府市保健所)の座長の下に、「残したいCOVID-19の教訓と集合知」を主題として、下記の講演に続き、グループディスカッションが行われました。

「健康危機管理における体制構築

全国保健所長会総会報告

全国保健所長会総務担当理事/山梨県富士・東部保健所長

中根 貴弥

本会会長の大分県東部保健所の内田勝彦所長からあいさつがあり、会員をはじめ全国の保健所職員に対して、昨年から新型コロナウイルス感染症の第6波、第7波に対し、それぞれの地域で感染拡大防止および感染者の療養調整等に尽力していることへの感謝の言葉がありました。

今年度の取り組みについて、短期的には新型コロナウイルス感染症の出口戦略として、今後ではできる限り通常の医療体制で対応していくため、地域で調整していく必要があり、また、中長期的にはこれまでも増している保健所機能強化を図る必要があることを述べられました。

報告事項(書面開催)担当理事報告

総務担当理事から、保健所数、各担当理事会の所掌、第68回全国

とその起動「近藤祐史(原子力災害対策調整官(厚生労働省 大臣官房 厚生科学課健康危機管理・災害対策室))

「新型コロナウイルス対応における課題と方向性、全国保健所長会の活動」白井千香所長(枚方市保健所)「災害対応にヒントを得た新型コロナウイルス感染症への対応」藤田利枝所長(長崎県県央保健所)

「札幌市の新型コロナウイルス対策の特徴」館石宗隆所長(札幌市保健所)「COVID-19対応から残したい教訓」発生段階に応じた対策の代替「必要！」小林良清所長(長野市保健所)

「全国保健所へのサージ拡大に対する備え」永井仁美所長(大阪府茨木保健所)

次回第80回総会は、令和5年10月30日(月)に、茨城県内での開催の準備中であることが、入江ふじ子茨城県土浦保健所長から報告されました。

第68回全国保健所長会会長表彰

保健所に20年以上勤務し、公衆

保健所長会会長表彰選考委員会の選任、後援等依頼への対応について報告がありました。

渉外担当理事から、「令和5年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の提出について報告がありました。来年度については、8月までには厚労省の次年度予算編成案がおおむね決まってくるため、従来の提出時期である6月ではなく、提出時期を3月に早める旨の報告がありました。

学術担当理事から、全国保健所長会総会における研究報告、日本公衆衛生学会奨励賞の募集・推薦、地域保健総合推進事業への若手参加推進等について報告がありました。

研修担当理事から、令和4年度全国保健所長会研修会は、令和5年1月25日(水)にオンラインで、またテーマは「保健所の職場環境を整える(働く)」をより良いものにする」とする予

衛生行政に功績のあった方々に対する表彰です。全国から推薦された52名の功労者の表彰が決定しました。会長から長年の公衆衛生行政への貢献に感謝と敬意の表明がありました。以下に受賞者のお名前を紹介いたします(敬称略)。(表彰については、賞状と記念品の発送という形で行われました)

- 北海道岩見沢保健所 西方敏之、北海道静内保健所 堀雅之、青森県東地方保健所 吉田智子、岩手県大船渡保健所 岩山啓子、仙台市保健所 福本恵、秋田市保健所 齋藤稔、山形県置賜保健所 我孫子千佳、郡山市保健所 熊田久美子、新潟県長岡保健所 内藤晴子、茨城県つくば保健所 鈴木洋子、栃木県県北保健所 佐々木純子、群馬県藤岡保健所 高久順子、埼玉県朝霞保健所 斉藤富美代、埼玉県加須保健所 田村のぞみ、千葉県印旛保健所 山本浩史、千葉県君津保健所 篠崎久美、横浜市保健所 嘉代佐知子、山梨県峡南保健所 吉留慶子、長野県長野保健所 小野辰哉、静岡市保健所 永井幹美、東京都多摩小平保健所 山田五月、荒川区保健所 今泉厚

定であることが報告されました。

広報担当理事より、ホームページや「公衆衛生情報」への寄稿状況の報告がありました。

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会では、地域における保健医療福祉、保健所の体制強化について協議検討していること、健康危機管理に関する委員会ではDHETA養成研修やIHETA行政リーダー研修に委員がファシリテーター等に協力し地区プログラムの推進役として実践に資すること、公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会では、社会医学系専門医制度への対応(指導医講習会、ZENHO通信等を通じた情報発信等)、都道府県等における公衆衛生医師の確保と育成に関する取り組みの調査(横山班との連携等)、各地域での本庁・大学等との連携の推進に取り組んでいることの報告が書面で行われました。

議案

議事1令和3年度事業報告(案)、

- 子、葛飾区保健所 高山公子、富山県新川厚生センター 古川美佳、石川県能登北部保健所 本間雅代、福井県丹南保健所 定由道子、岐阜県関保健所 加留奈美、愛知県西尾保健所 杉浦小百合、名古屋西尾保健所 嶋貫徹、滋賀県草津保健所 嶋貫徹、滋賀県草津保健所 黒橋真奈美、京都府丹後保健所 極山貴子、大阪府泉佐野保健所 勝藤訓子、兵庫県加古川保健所 藤原恵美子、尼崎市保健所 石井智鶴、和歌山市保健所 丹生哲哉、鳥取県米子保健所 伊藤敏行、島根県県央保健所 林清子、呉市保健所 谷かおり、山口県岩国環境保健所 平田幸治、徳島県吉野川保健所 廣瀬寿美、香川県中讃保健所 大平明美、愛媛県四国中央保健所 内田和彦、高知県中央東福祉保健所 永野由美子、福岡県南筑後保健所 馬場洋、福岡市東保健所 渡邊理恵、佐賀県杵藤保健所 永島新一、長崎市保健所 川原るみ子、熊本県菊池保健所 川口薫、大分県中部保健所 佐藤裕子、宮崎県中央保健所 高妻真子、鹿児島県川薩保健所 上園千鶴、沖縄県南部保健所 玉城いずみ